

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第187号

平成30年(2018)10月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

アベリア

中原街道の平塚橋交差点の角にあるみずほ銀行。その前に、アベリアの大きな生け垣があります。低い木で、鐘型の小さな花がたくさん咲いています。

スイカズラ科で原産国は中国。白やピンクの花を咲かせ、花言葉は「優美」「強運」などです。

春から秋にかけて長い間花が咲き、とてもいい香りがします。ハチやチョウが蜜を吸いにやって来ますが、こんな車の多い交差点にも虫たちが飛来するのでしょうか。

秋の爽やかな候となりました。みなさんものんびりと、平塚橋交差点辺りを散策してみませんか。きっとアベリアの良い香りを楽しめるとおもいます。



(中原共和町会・青木富代)



荏原第一中学校のみなさんと荏原第一地域センターの佐々木所長(左から4人目)

豪雨災害へ募金

荏原第一中学校

荏原第一中学校の生徒さんが、9月3日(月)に、「荏原第一地区区民まつり」での募金活動と模擬店販売の売上金を、平成30年7月豪雨災害の義援金へ寄付しました。

品川区では、甚大な被害をもたらした豪雨災害の被災地支援のため、皆様からお預かりした義援金を、日本赤十字社を通じて被災地へお届けしています。(平成30年12月31日まで受付)

この日は、学校の代表として、生徒7人が荏原第一地域センターを訪れました。代表の生徒は、「西日本では大きな被害が発生しました。この義援金

が少しでも被災地の方に役立ててもらえたら嬉しいです」と話し、荏原第一地域センター所長へと義援金が手渡されました。

荏原第一中学校の生徒の皆様、ご協力ありがとうございました。(事務局)

町のお助けマン



8月10日、荏原3丁目において延焼火災が発生しました。

いち早く

荏原消防団の第一分団及び、第二分団の団員が可搬ポンプ積載車で出動し、一丸となって防火水槽からの取水で消火活動を行いました。加えて荏原消防署員のみなさんと協力し、火災の延焼防止に貢献しました。

消防団の方々の、危険を顧みない素早い対応は町の誇りであり、近隣の方々から感謝をされました。

消防団の方々の、自己の生活を犠牲にしてまで有事に備えた訓練の積み重ねが、今回の活動につながったと評価され、この度荏原消防署長から表彰を受けました。

(荏原3丁目町会)

防災☆ワンポイント

(東京都発行「東京防災」より)



「東京防災」という黄色い表紙の冊子をご存知ですか？平成27年9月頃各家庭に配布されました。災害に対する事前の備えや発災時の対応など、今すぐ活用でき、いざというときにも役立つ情報を分かりやすくまとめた東京仕様の防災ブックです。これから防災コラムとして、この防災ブックの中から抜粋し紹介していきます。



東京防災の冊子

●日常備蓄で備えよう！

ひとたび大規模な地震が起これば、電気・ガス・水道などのライフライン被害や物資供給の停滞が想定されます。日頃から自宅で生活する上で必要な物を備えておくことが重要です。



これまでの災害用備蓄は、乾パンやヘッドライトなど普段使わない物を用意する特別な準備と考えられてきました。そのため管理や継続が難しいとあきらめてしまう人も多かったはず。しかし、日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく「日常備蓄」なら簡単に備蓄ができます。

民間救命士に出来るすごいこと！

日曜日に公園広場で太極拳を教えてください、さっている先生から声をかけていただき、消防署へ民間救命技能講習を受けに行ってきた。

「他人を救おうとする社会が自分を救う」。普段、自分で気づかぬうちに、大勢の人々に守られ生きていくことを再確認した講習でした。

現在都内で救急車が現場に到着するまでに、平均7〜8分。この空白の数分間に、AEDの力を借りることができれば、社会復帰の可能性を高めることができるのです。AEDとは、ポンプとしての機能を失った心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻す装置のことです。血液が全身に送られるようになることで、脳や身体機能も回復させることができます。

しかし現状では、この数分間でAEDを入手することは非常に困難なのです。そんな時は、この方法で助けてください！

①119番通報をこつこつ、救急車を要請！

②110番通報をし、AEDを届けてもらう！

スマホのGPS機能を使い、現在地を確認します。近辺のパトカーがAEDを届けてくれます。

どうぞ、皆様にも受講していただけたらと思います。(荏原4丁目町会・荻野雅子)

町で見つけたたちよつこい話



台風21号で大荒れの日、パルム商店街のパルム会館前で、制服姿の生徒さんたちの元気な声が聞こえました。「ドレッシングはいかがですか？」と、岩手県一関市立東山中学校のみなさん。総合学習として1年生の時に学んだ和紙、2年次の農業体験、そのまとめとして今回、3年生65名が9月4日から6日までの修学旅行の中で、地域の方々が作った野菜や工芸品(すずり、和紙、缶バッジなど)を中野ブロードウェイ、板橋区のハッピーロード大山、武蔵小山パルム商店街の3カ所に分かれて販売しているのだそう。

火曜日にもともと定休日の店が多く、いつもより人出が少なかったが、引率のダブルパンチではありましたが、引率の千葉先生にお話をうかがっている間に、生徒さんイチオシのドレッシング最後の1本が売れて、完売となりました。(小山3丁目町会・柿沼恵子)